

<千葉市の海辺をしらべよう>

小学校 3年 組 名前

この学習は、5階のパネル写真「千葉市の海辺」の写真やその説明を見ながら学習しましょう。

1. 5階の展示パネル「^{てんじ}埋立前の海辺」の稲毛海岸、「^{うめたてまえ うみべ}移り変わる海辺」の
^{ほくぶちく}北部地区①や北部地区②をよく見ながら下線に答えを書きましょう。

右の写真は、今の美浜区がある地域です。昔はとても景色のよい所でした。その後、50年位前からずいぶん土地の様子が変わっています。



①昔の稲毛海岸は、深さがあまりない（^{とおあさ}遠浅な）海岸だったので、人々は_____や_____をして楽しんでいました。

②100年以上昔は、_____ ^{りょうようじょ}療養所（病気になった人が入院する所）があり、入院している人は病気を治すために_____をしていました。その後は、_____という旅館になりました。



③その後、稲毛の海岸は_____後半から_____が始まり、たくさんの新しい土地が作られました。それが今の美浜区です。

④新しくできた土地には、多くの_____や日本で初めての_____が作られて、多くの人々が住むようになりました。

2. 昔の様子から今の美浜区がある地域はどのように変わってきたのでしょうか。「海を」に続く文を考えてみましよう。

①海を_____

②うめたてによって新しく作られた今の美浜区がある地域では、町の様子や人々の生活で、何が変わったと思いますか。展示パネルの写真を見て、自分の意見を書いてみましょう。

*むずかしければ、「わたしたちの千葉市」のP75やP80の文を参考にして書きましょう。

3. 今の中央区の千葉港のあるところも、うめたてられて新しい土地ができた所です。展示パネルの「^{うつ}移^かわる^{うみべ}海^{なんぶ}辺」の中央地区や南部地区をよく見ながら、下線に答えを書きましょう。

- ①「千葉港の様子」写真から・・えんとつが見える所には大きな工場が作られました。当時の工場の名前は_____で_____を作っていました。千葉港はアメリカやオーストラリアからたくさんの船が^{にもつ}荷物を運んで所で、日本でも2番目に荷物の量が多い港です。
- ②「^{かい}貝^{とる}を採る人々」「^{こくどうぞい}国道沿いの売店」写真から・・海では(ア)_____や(イ)_____を採ることができました。海ぞいの大きな通りには(ア)や(イ)を売るお店もありました。
- ③「^{すすみなとうめたて}出洲港埋立て」写真から・・昭和39年から始まったうめたてでできた土地に、今の_____が建てられました。
- ④「^{うめたて}埋め立てが行われた時期」パネルから・・うめたては何回も行われたのがわかります。その結果^{しんみなと}新港には_____という食べ物を作る工場が集まりました。ここから運ばれてくる学校の給食の食べ物もあります。
- ⑤「南部地区」写真・パネルから・・^{そが}蘇我町や^{かわさき}川崎町では、_____や_____が作られました。この工場が集まったところは^{けいようこうぎょうちたい}京葉工業地帯の一部となっています。

4. 5階のパネル写真や「わたしたちの千葉市」のP74からの単元の学習を参考にして、美浜区や中央区のうめたてで、町の様子や人々のくらしで変わってきたことを考えてみましょう。

- ①うめたてによって増えたもの、できたものは何でしょう。
- ・ _____
- ・ _____
- ②うめたてで新しく広い土地ができて、あなたが良いなと思うこと、なくなってしまって残念だなと思うことがあったら書いてください。
- (良いこと)
- _____
- _____
- (残念なこと)
- _____
- _____

<千葉市の海辺をしらべよう>

小学校 3年 組 名前

この学習は、5階のパネル写真「千葉市の海辺」の写真やその説明を見ながら学習しましょう。

1. 5階の展示パネル「埋立前の海辺」の稲毛海岸、「移り変わる海辺」の北部地区①や北部地区②をよく見ながら下線に答えを書きましょう。

右の写真は、今の美浜区がある地域です。昔はとても景色のよい所でした。その後、50年位前からずいぶん土地の様子が変わっています。



①昔の稲毛海岸は、深さがあまりない(遠浅な)海岸だったので、

人々は潮干狩りや海水浴をして楽しんでいました。

②100年以上昔は、稲毛海気療養所(病気になった人が入院

する所)があり、入院している人は病気を治すために海水浴を

していました。その後は、海気(気)館という旅館になりました。



③その後、稲毛の海岸は昭和30年代後半からうめたてが

始まり、たくさんの新しい土地が作られました。それが今の美浜区です。

④新しくできた土地には、多くの住宅(団地)や日本で初めての人工海浜(人工の砂浜、

いなげの浜)が作られて、多くの人々が住むようになりました。

2. 昔の様子から今の美浜区がある地域はどのように変わってきたのでしょうか。「海を」に続く文を考えてみましょう。

①海を

②うめたてによって新しく作られた今の美浜区がある地域では、町の様子や人々の生活で、何が変わったと思いますか。展示パネルの写真を見て、自分の意見を書いてみましょう。

*むずかしければ、「わたしたちの千葉市」のP75やP80の文を参考にして書きましょう。

3. 今の中央区の千葉港のあるところも、うめたてられて新しい土地ができた所です。展示パネルの「^{うつ}移^かわる^{うみべ}海^{なんぶ}辺」の中央地区や南部地区をよく見ながら、下線に答えを書きましょう。

- ①「千葉港の様子」写真から・・えんとつが見える所には大きな工場が作られました。当時の工場の名前は 川崎製鉄所 で 鉄 を作っていました。千葉港はアメリカやオーストラリアからたくさんの船が荷物を運んで所で、日本でも2番目に荷物の量が多い港です。
- ②「貝を採る人々」「国道沿いの売店」写真から・・海では ア アサリ や イ ハマグリ を採ることができました。海ぞいの大きな通りには ア や イ を売るお店もありました。
- ③「出洲港埋立て」写真から・・昭和39年から始まったうめたてでできた土地に、今の 千葉市役所 が建てられました。
- ④「埋め立てが行われた時期」パネルから・・うめたては何回も行われたのがわかります。その結果新港には 食品コンビナート という食べ物を作る工場が集まりました。ここから運ばれてくる学校の給食の食べ物もあります。
- ⑤「南部地区の」写真・パネルから・・蘇我町や川崎町では、製鉄所 や 発電所 が作られました。この工場が集まったところは京葉工業地帯の一部となっています。

4. 5階のパネル写真や「わたしたちの千葉市」のP74からの単元の学習を参考にして、美浜区や中央区のうめたてで、町の様子や人々のくらしで変わってきたことを考えてみましょう。

①うめたてによって増えたもの、できたものは何でしょう。

・ _____

・ _____

②うめたてで新しく広い土地ができて、あなたが良いなと思うこと、なくなってしまって残念だなと思うことがあったら書いてください。

(良いこと)

(残念なこと)
